

主な内容

- 特集 1~2
北九州市の特別支援教育
 - トピックス 3~4
●若松北海岸フェスティバル
いいね発見スタンプラリーを開催
●入園・入学前に予防接種を
など
 - すこやかハート北九州 5
 - 情報ステーション 6~11
- *最終ページは人口データと若松区の情報

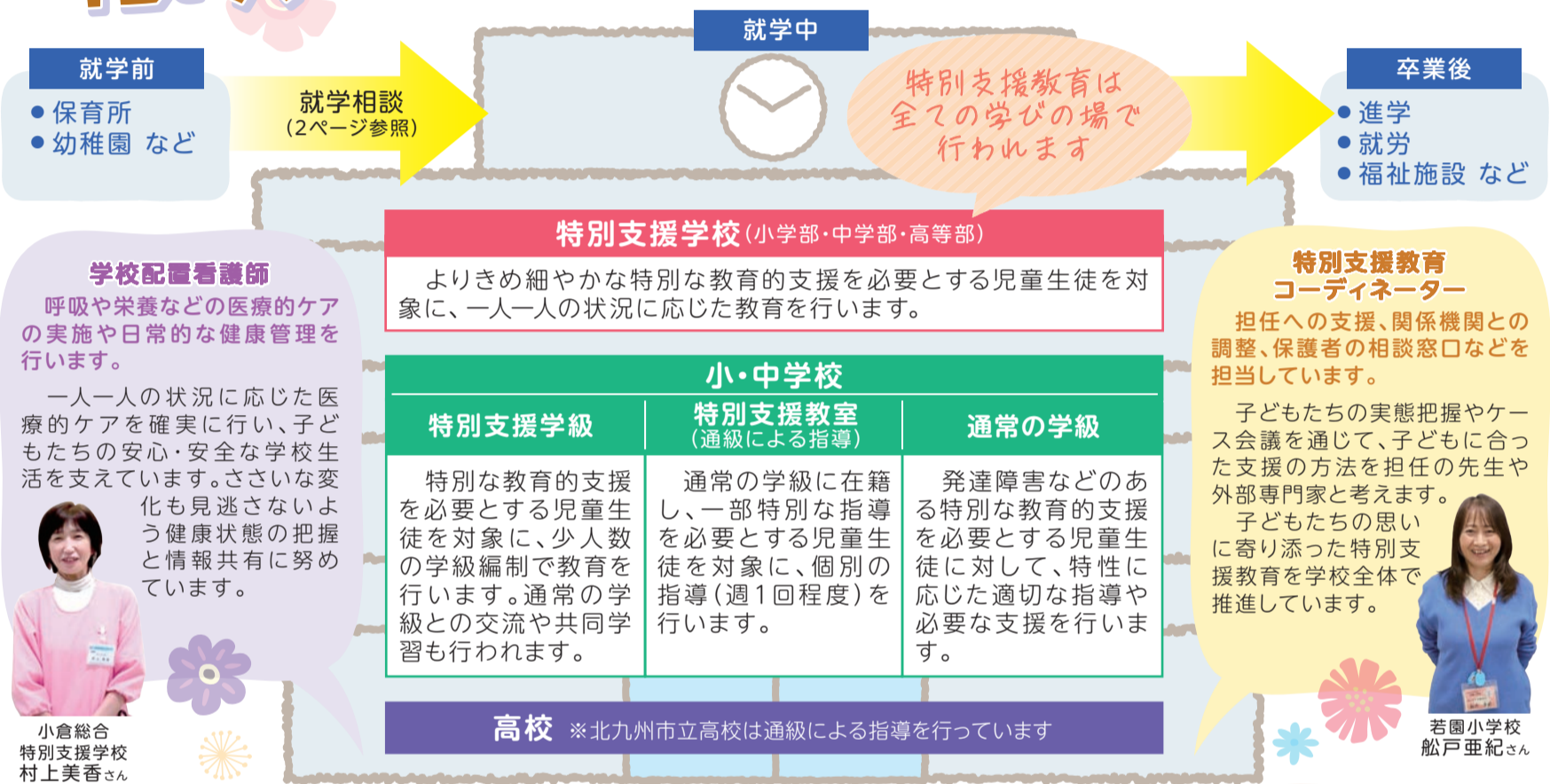
特集 北九州市の特別支援教育

子どもたちがそれぞれの 花を咲かすことができる教育を

特別支援教育は、障害のある子どもの自立と社会参加のために、一人一人の教育的ニーズに応じた指導や支援を行う教育です。

北九州市では、障害の有無にかかわらず誰もが生き生きと活躍できる共生社会の形成を目指し、多様なニーズに対応した教育・支援を行っています。

担教育委員会特別支援教育課 ☎582・3448



小倉総合
特別支援学校
村上美香さん

若園小学校
船戸亜紀さん

特別支援教室 通級担当
各区担当が各小学校を巡回し自立支援を行います。



広徳小学校
(小倉南区担当)
原田文子さん

子どもが安心感を持ちながら自分の力を伸ばせる場、ほっとできる場であるよう心がけています。

多くの職員が特別支援教育に関わっています

特別支援教育学習支援員

通常の学級で授業を受けている支援が必要な子どもに付き添い、学習のフォローを行います。

分かりやすい教材を手作りすることも。子どもとの距離が近く、「何に困っているか」気付きやすいので、担任の先生と一緒に解決することができます。



若園小学校
吉岡雅子さん

授業中は横でヒントを与えたり、「手を挙げてみようか」と声をかけたりします。繊細な子ども、元気な子どもなど、一人一人に合わせたフォローを心がけています。



広徳小学校
近津優子さん

特別支援教育介助員

肢体不自由等のある子どもに付き添い、移動介助や学習中の身体補助などを行います。

介助するお子さんだけでなく、担任の先生や他の子どもたちとのコミュニケーションも大事にしています。子どもたちができた喜びを味わえるようサポートしています。



鳴水小学校
梅木佳菜さん

市長からの
メッセージ

昨年8月に小倉総合特別支援学校を訪問した際、授業や給食など、安全確保に努めながら子どもたちに寄り添い、一つ一つ丁寧に対応する職員の姿や、楽しそうに過ごす子どもたちの姿が印象的でした。

現在、発達障害や難病を含めると日本人の10人に1人は障害があるといわれています。障害に限らず、人はそれぞれ、さまざまな個性や差がある人同士、共に生きるのがこの世の中です。「与える人」「与えられる人」に分かれるのではなく、互いに必要な時には支え合える「共生社会」を目指します。

特別支援教育もその一つです。子どもたち一人一人がそれぞれの形で自立と社会参加していける、そんな北九州市を市民みんなの力でつくっていきましょう。

北九州市長 武内 和久



▲小倉総合特別支援学校の
調理員の皆さんと

